

第 75 回 全日本学生体操競技選手権大会

第 73 回 全日本学生新体操選手権大会

感染拡大防止ガイドライン

期 日

体操競技：2021年8月31日（火）～9月4日（土）

新体操：2021年9月13日（月）～9月16日（木）

会 場

草薙総合運動場体育館（このはなアリーナ）

〒422-8008 静岡県静岡市駿河区栗原19-1

【ガイドライン策定の趣旨】

昨今の新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、スポーツ庁・(公財)日本スポーツ協会・(公財)日本体操協会(JGA)・静岡県・静岡市・開催施設のガイドラインに沿って、本大会開催における感染拡大防止ガイドラインを策定する。

このガイドラインによって、競技会への参加者(以下、「参加者」とは選手、指導者、チームスタッフ、審判員、運営スタッフなど、競技会場内で競技に直接的、間接的に関わる者を指す。観客、報道関係者、施設管理者は除く。)への感染症拡大の予防を適切に行っていくことが求められる。

感染拡大防止のためには、参加者各自が通常の生活、特に大会期間前後約2週間においては、十分な防止対策を講じていることが大前提である。その上で、大会期間中における感染拡大防止の目標は、「①参加者を感染から守るために、感染者や感染の疑いのある人を可能な限り排除すること」と、「②感染者が発生した場合に、その濃厚接触者とならない・させないこと」である。そのためには、参加者すべてが、本ガイドラインを十分に理解し、ここに示された適切な行動をとることが必要となる。

なお、本ガイドラインは、現段階で得られている知見等に基づき作成しているため、今後見直すこともあり得る。

【全般的な遵守と注意事項】

- ・マスクを持参し着用すること。
- ・三密(密閉・密集・密接)を避けること。
- ・こまめに手洗い、手指消毒、うがいを行なうこと。
- ・体育館内では、密とならない距離を確保すること。
- ・大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ・感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。

【大会前の健康状態の把握】

- ・競技会のすべての参加者は、大会2週間前から「体調管理および行動履歴記録表(様式1)」(または、「JGA 体調管理検温表」)を用いて、健

康観察を適切に行わなければならない。

- ・参加者は、様式 1 を元に「参加同意書・健康チェックリスト（様式 2）」を作成し、最初の入館時に提出しなければならない。
- ・参加する学生（選手・補助役員・学連幹事等）は、保護者による参加への承諾が必要となる（様式 2 への署名）。
- ・参加者（ID 保持者）以外の入場者については検討中である。入場を認めた場合は事前申請が必要となり、大会前の健康状態の把握については上記参加者と同じ扱いとする（入場者・事前申請の方法については、別途通達する）。

【観客席の入場制限と座席の配置】

- ・ID 保持者は観客席に入場できる。
体操競技では、2 部校の ID 保持者は 2 部校の競技期間（8/31～9/2）、1 部校の ID 保持者は 1 部校の競技期間（9/3～9/4）のみとする。
- ・大学ごとの指定席とする。
- ・ID 保持者以外の入場者については、静岡市と調整中。

【体育館への入館】

- ・入館者は提出書類（様式 2）を準備し、係の指示に従う。
- ・入館手続きは、検温→消毒→受付（様式 2 の提出）とする。
- ・受付の効率化を図るため、大学ごとにまとまった入館をお願いする。
 - * 体調不良（発熱・咳・のどの痛み等）がある場合は入館を認めない。
 - * 「提出書類」に記載の個人情報は、感染発生時の所在情報確認に活用する。個人情報に関する法令を遵守する。

【トイレ】

- ・参加者によって、使用するトイレを指定することがある。
- ・出入りは消毒の徹底をする。

【更衣室】

- ・指定された更衣室を使用し、密とならない距離を保ち使用する。
- ・混雑時の使用はさける。

- ・ 出入りは消毒の徹底をする。
- ・ マスクを着用し、短時間での使用を心掛ける。
- ・ シャワーは原則として使用しない。
- ・ ロッカーに荷物を放置しない。

【体育館内での飲食】

- ・ 指定された場所を利用する。
- ・ 密とまらない距離を保って対面を避け、会話は控えめにする。
- ・ 空箱等の後始末を適切に行う。

【炭酸マグネシウム・共有物】

- ・ 競技場内および練習場に炭酸マグネシウムは設置しない。
- ・ 炭酸マグネシウムは各大学（各選手）が用意し、その使用に際しては床面やマットを汚さないよう注意する。
- ・ チーム等で共有するもの（雑巾、霧吹き等）は、できるだけ選手別に用意し、他チームとの共用は避ける。
- ・ タオルは共用しない。

【コーチ】

- ・ 競技会場での選手へのアドバイス、伝達では濃厚接触を控える。
- ・ 選手への幫助は不測の事態以外は控えめに行う。
- ・ タッチや握手は禁止する。
- ・ ミーティングは15分を超えないよう注意する。

【トレーナー】

- ・ 治療行為は濃厚接触に該当するので衛生管理に十分注意する。
- ・ 治療場所では他の人との密とまらない距離を保つようにする。
- ・ 選手の健康状態の異常（発熱・咳・のどの痛み等）には常に注意を払う。
- ・ 競技中に異常状態が発生した場合は、審判長に速やかに連絡する。

【審判】

- ・ 審判、補助役員ともにマスクを着用し、衛生管理の徹底を図る。

- ・ 補助役員の濃厚接触を避ける。
- ・ 審判席は適切な間隔を保つよう設置する。
(必要に応じて、アクリル板等を使用する予定)

【監督会議】

- ・ マスクを着用する。
- ・ 会議室への入退出時はアルコール消毒を必ず行う。
- ・ 座席間の距離を適切に保つ。
- ・ 各大学男女別に 1 名の出席とする。
- ・ 事前に会議資料を配布し、説明は極力省略する。

【審判会議】

- ・ マスクを着用する。
- ・ 会議室への入退出時はアルコール消毒を必ず行う。
- ・ 座席間の距離を適切に保つ。
- ・ 審判打ち合わせは濃厚接触を避け、大声は控えるよう注意する。

【セッティング・カッティング】

- ・ 必要最低限の人数で行う。
- ・ セッティング・カッティング時にはマスク・手袋を着用する。
- ・ セッティング終了後は、必要に応じて器具のアルコール消毒を行う。

【閉会式（2部校表彰式）】

- ・ 表彰対象となる選手のみでの参加とする。(予定)
- ・ 賞状等は、大会終了後、各大学にまとめて郵送する。

【参加者の行動全般】

- ・ 大会期間中は感染拡大防止対策に注意を払って生活をする。
- ・ 大会期間中は飲食を伴う会合や懇親会等を控える。
- ・ 参加者の体育館内での行動を把握するため、「体育館内での行動表（様式3）」を記録し、各大学で回収・保管する。
- ・ 開催地への移動・宿泊等に関しては、各大学で参加者の行動を十分に

管理する。

【不測の事態発生時の対応】

- ・参加者にコロナウイルス感染が疑われる症状が出た場合は、静岡市の衛生部局と連絡をとり、大会本部にも速やかに報告する。
- ・競技会場で体調不良者が発生した場合は、本部・救護担当に報告し、隔離対策を施したうえで医師の指示を受ける。

【その他】

- ・衛生管理への協力
 - ・感染予防グッズ（消毒液等）は各自で持参する。
 - ・自分の使った場所（選手席・観客席等）の消毒・清掃を行う。
 - ・ゴミは持ち帰る。
- ・鳴り物の器具による応援は禁止とする。

※本ガイドラインに示した作成・提出書類（様式 1、2、3）は、後日 H P に掲載する。その他、参加者全員に作成・提出を求める書類がある。これについては別途通達し、H P に掲載する。

※本ガイドラインに記載されていない体操競技・新体操それぞれの競技会において必要な事項については、別途通達する。

※本ガイドラインに違反した行動には厳しく対応する。

以上